

仙台市地域公共交通計画 ～施策の取組み状況について～

取組施策一覧（全40取組）

⇒本資料では取組施策一覧の内、令和7年度に新たに実施したものなど代表的な取組を報告

公共交通の基本方針	個別施策	取組内容	エリア		区間			実施計画 策定予定
			みんなで 支える路線 バスエリア	みんなで育む 多様な交通 確保エリア	バス幹線	バス準幹線	フィーダー	
1.公共交通軸の形成・機能強化 2.路線バスの利便性向上	①バス幹線区間・準幹線区間における利便性向上策の実施	1) バス幹線区間及び準幹線区間における事業者間調整	●		●	●		●
		2) バス待ち環境の整備	●		●	●		
		3) 走行環境等の整備	●		●	●		
	②フィーダー区間における利便性向上策の実施	1) フィーダー区間の事業者間調整	●				●	●
		2) 乗り換えに関する情報提供の改善	●				●	
		3) 乗り換え時刻表の掲示	●				●	
		4) バス待ち環境の整備	●				●	
	③既存鉄道の機能強化	1) 仙台駅における乗り換え利便性向上策の実施 2) 泉中央駅周辺における交通環境改善策の検討	● ●					
	3.地域交通の維持・確保・充実	④地域が主体となった移動手段の確保・充実	1) 地域の実情に合った移動手段の確保		●			
2) 地域の移動手段確保について考える意見交換会の実施				●				●
3) 地域交通を利用しやすい運賃施策等の検討・実施				●				●
⑤地域交通と路線バス等をつなぐ交通結節点整備	1) 地域交通結節点整備			●				●
	2) 医療施設や商業施設等と連携した乗り継ぎ停留所の設置			●				●
4.都心回遊交通の強化	⑥公共交通を利用した都心の回遊の促進	1) 都心部における均一運賃制度の検討・実施	●					
		2) 均一運賃制度の更なる利用促進	●					
		3) 公共交通を利用した回遊のあり方検討	●					●
5.公共交通のシームレス化・利用促進等	⑦自動運転等新技術の活用検討	1) 自動運転等新技術の活用検討	●					
	⑧バス待ち環境整備	1) スマートバス停の導入	●					
		2) バス待ち環境の整備	●					
	⑨公共交通の情報提供や案内誘導の改善	1) 公共交通の情報提供の改善	●	●				●
		2) 駅等交通結節点における案内誘導の改善	●					
		3) 路線バスの共通ナンバリングの導入検討	●	●				●
	⑩運賃施策等による公共交通利用の促進	1) 一日乗車券等の実施	●	●				
		2) 新たな運賃・乗車券制度の検討	●	●				●
		3) 公共交通利用者の優遇策の検討	●	●				
	⑪キャッシュレス決済の利活用促進	1) ICカード乗車券の利用・導入の促進	●	●				
		2) キャッシュレス決済の検討	●	●				
		3) ICカード乗車券の更なる利便性向上の検討	●	●				
	⑫駅やバス・地下鉄車両等のバリアフリー化	1) 鉄道駅バリアフリー化の推進	●					
		2) 誰にでも使いやすい移動車両等の導入	●	●				
	⑬モビリティ・マネジメント等の推進	1) 住民モビリティ・マネジメント	●					●
2) 転入者モビリティ・マネジメント		●	●					
3) 学生・生徒モビリティ・マネジメント		●	●					
4) 公共交通利用促進イベントの開催		●	●					
5) 小学生への公共交通に関する学習の実施		●	●					
6) パーク&ライド等の推進		●						
⑭MaaSの推進	1) MaaSの推進	●	●					
⑮旅行者等が移動しやすい環境の整備	1) 来訪者向け公共交通施策の実施	●					●	
	2) 来訪者向け交通手段の利用促進	●	●					

評価指標

目標・基本方針	評価指標（案）	頻度	現況値	目標値 (R8 (2026) 年度末時点)
【目標】 市民との協働により、地域の実情に合った、誰もが利用しやすく質の高い公共交通を持続的に確保し、自由に移動ができる生活の実現とまちなかの賑わい向上をめざします。	・公共交通利用者満足度	毎年	JR・地下鉄 80.2% 路線バス 53.3% 地域交通 86.5% (令和3 (2021) 年度末)	JR・地下鉄 83.2% 路線バス 56.3% 地域交通 89.5%
	・JR 在来線/地下鉄利用者数	毎年	JR 76 百万人 地下鉄 91 百万人 (令和元 (2019) 年度末)	JR 76 百万人 (現況値までの回復) 地下鉄 100 百万人
	・市内を運行する路線バス事業者の営業収支比率	毎年	・公営交通 67.9% ・民間交通事業者 83.9% (令和元 (2019) 年度末)	・公営交通 71.7% ・民間事業者 経営の健全化
【基本方針1】 公共交通軸の形成・機能強化	・バス幹線区間、バス準幹線区間、フィーダー区間を運行するバスの利用者数	毎年	47 百万人 (令和元 (2019) 年度末)	47 百万人 (現況値までの回復)
	・市内を運行する路線バス事業者の路線バスの1便あたり利用者数	毎年	27.4 人/便 (令和元 (2019) 年度末)	27.4 人/便 (現況値までの回復)
【基本方針2】 路線バスの利便性向上	・実施計画の策定及び実施	毎年	—	実施計画の策定及び実施
【基本方針3】 地域交通の維持・確保・充実	・地域との意見交換実施地区数	毎年	10 地区 (令和3 (2021) 年度末)	15 地区
	・地域交通の導入地区数	毎年	4 地区 (令和3 (2021) 年度末)	10 地区
	・地域交通利用者数（試験運行等を含む）	毎年	8,428 人 (2 地区) (令和元 (2019) 年度末)	19,710 人
【基本方針4】 都心回遊交通の強化	・都心部歩行者通行量	毎年	平日 40,062 人 休日 49,007 人 (令和元 (2019) 年度末)	平日 45,000 人 休日 55,000 人
	・都心における公共交通利用者数	毎年	164 万人 (令和元 (2019) 年度末)	164 万人 (現況値までの回復)
【基本方針5】 公共交通のシームレス化・利用促進	・せんだい市バス・地下鉄アクセスナビ件数	毎年	19 百万件 (令和元 (2019) 年度末)	19 百万件 (現況値までの回復)
	・キャッシュレス決済乗車券利用率（路線バス）	毎年	91.8% (令和元 (2019) 年度末)	95.0%
	・低床バス（ノンステップバス）の導入率	毎年	75.4% (令和元 (2019) 年度末)	96.0%

効果を与える評価指標

【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】

- ①バス幹線・準幹線区間における利便性向上策の実施
 - 1) バス幹線区間及びバス準幹線区間における事業者間調整
- ⑨公共交通の情報提供や案内誘導の改善
 - 1) 公共交通の情報提供の改善

【八木山ラインポケット時刻表の作成・配布】

ダイヤ調整によるバス停での待ち時間短縮およびパターン化された覚えやすいバス時刻の調整を実施した八木山ラインにおいて、沿線住民の利用促進と取り組みの定着を図るため「八木山ラインポケット時刻表」の作成・配布を行った。
 令和7年度は沿線世帯や公共施設への配架などを含め、約24,000部配布した。

取組内容



【公共交通ネットワーク図】



【ポケット時刻表】

効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
令和8年度以降の予定	●	●	●			
	➤ 八木山ラインの利用促進に向けた周知広報を実施する					

- ①バス幹線・準幹線区間における利便性向上策の実施
- ②フィーダー区間における利便性向上策の実施
- ⑧バス待ち環境整備
 - ① 2) ② 4) ⑧ 2) バス待ち環境の整備

【広告付き上屋及びバス停上屋の整備・修繕】

交通局、宮城交通(株)が広告付き上屋及びバス停上屋の 整備・修繕を実施。

- ◆ 広告付き上屋 16箇所
- ◆ バス停上屋 交通局:2箇所(整備:2 修繕:0)
宮城交通(株):9箇所(整備:2 修繕:7)

取組内容



広告付き上屋



バス停上屋

効果を与える
評価指標
令和8年度
以降の予定

【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
●	●				

➤ 継続してバス停上屋等の整備・修繕を実施する



③既存鉄道の機能強化

1) 仙台駅における乗り換え利便性向上策の実施

⑨公共交通の情報提供や案内誘導の改善

2) 駅等交通結節点における案内誘導の改善

【仙台駅乗り継ぎ案内動画作成】

仙台市の玄関口である、仙台駅は、JR・地下鉄・路線バスや商業施設等が複雑に繋がっており、「移動の乗り継ぎ等が分かりづらい」との声。これまで作成してきた、初めて仙台駅をご利用される方でも分かりやすい「乗り継ぎ案内動画」の中から、地下鉄南北線ホーム～新幹線中央口改札ルート(エレベーター利用)の英語版を作成。

取組内容



作成動画一覧	日本語版	英語版
1.地下鉄南北線ホーム⇒新幹線中央口改札	●	●
2.地下鉄南北線ホーム⇒新幹線中央口改札 (エレベーター利用)	●	●
3.新幹線中央口改札⇒地下鉄南北線ホーム	●	●
4.新幹線中央口改札⇒地下鉄南北線ホーム (エレベーター利用)	●	●
5.新幹線中央口改札⇒60番バス乗り場	●	●
6.新幹線中央口改札⇒西口バス乗り場③ (まちのりチョコレートバス停)	●	●

効果を与える
評価指標

【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
●	●				

令和8年度
以降の予定

➤ 継続して乗継動画を作成する



④地域が主体となった移動手段の確保・充実

- 1) 地域の実情に合った移動手段の確保
- 2) 地域の移動手段確保について考える意見交換会の実施

【地域との意見交換及び地域交通の導入】(令和8年3月末時点)

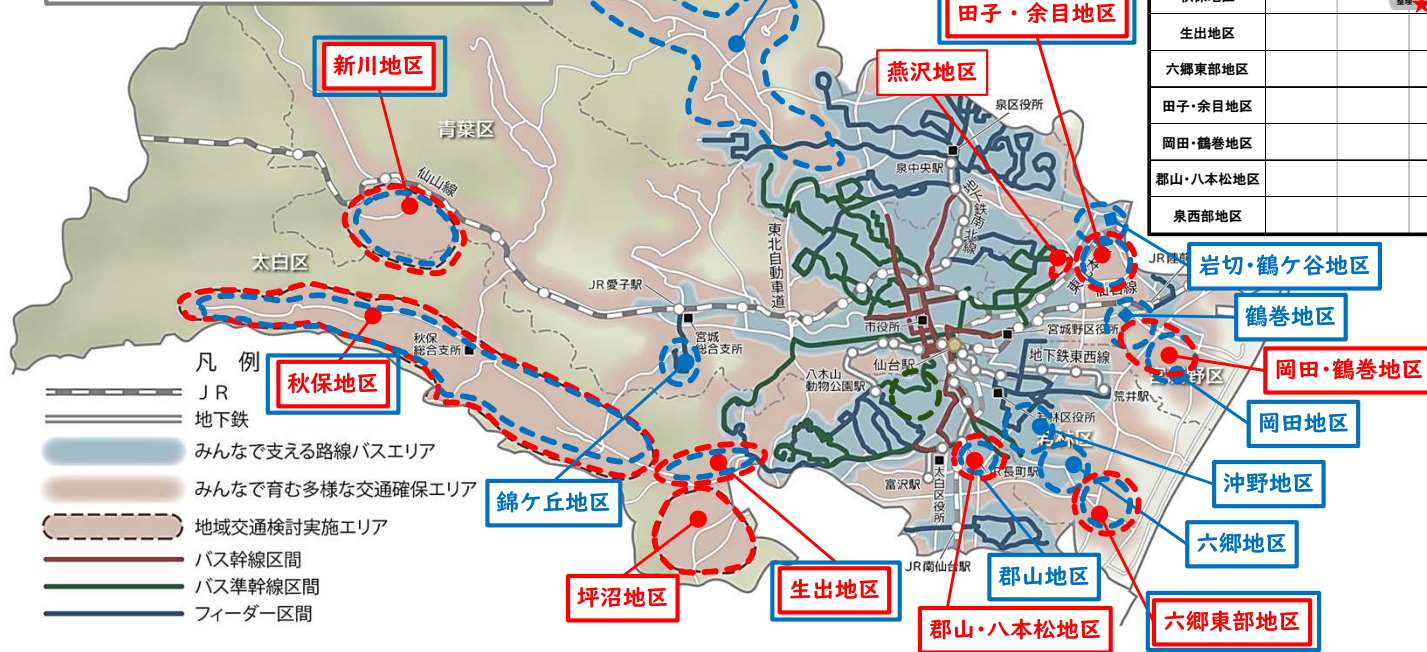
- ◆ 地域交通の導入地区数: 9地区
- ◆ 地域との意見交換実施地区数: 13地区(導入地区を含む累計)

▼各地区の経過(検討組織設立地区) ★: 検討組織設立

地区名	~H29年度	H30年度	H31年度・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
燕沢地区	★ 運行内容の検討	試験運行等		本格運行					
坪沼地区	運行内容の検討		試験運行等		本格運行				
新川地区		課題整理	★ 運行内容の検討	試験運行等		本格運行			
秋保地区		★ 課題整理	運行内容の検討	試験運行等			本格運行		
生出地区			★ 課題整理	試験運行等					
六郷東部地区			課題整理	★ 運行内容の検討	試験運行				
田子・余目地区			課題整理	★ 運行内容の検討	試験運行				
岡田・鶴巻地区			課題整理	★ 運行内容の検討	試験運行				
郡山・八本松地区			課題整理	★ 運行内容の検討	試験運行				
泉西部地区			課題整理	★ 運行内容の検討					

凡例

- 本格運行及び試験運行実施中
- 地域との意見交換実施地区



凡例

- JR
- 地下鉄
- みんなで支える路線バスエリア
- みんなで育む多様な交通確保エリア
- 地域交通検討実施エリア
- バス幹線区間
- バス準幹線区間
- フィーダー区間

【凡例】

- : 課題整理、運行内容の検討
- : 試験運行等
- : 本格運行

取組内容

効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
令和8年度以降の予定	●			●		
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 継続して地域との意見交換を行い地域主体の移動手段の確保に取り組む ➤ 地域交通導入地区については運行の維持に向けた取り組み支援を実施する 					

⑥公共交通を利用した都心の回遊の促進

3) 公共交通を利用した回遊のあり方検討

⑮旅行者等が移動しやすい環境の整備

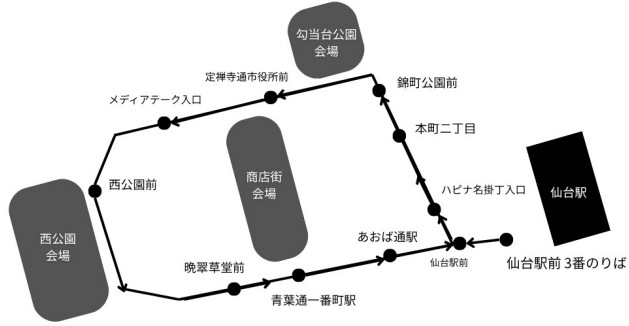
1) 来訪者向け公共交通施策の実施

【仙台都心循環線（仙台駅前～仙台駅前間）】

- ・運行事業者: 宮城交通株式会社
- ・運行時間: 始発9:00～最終17:40(18便/日)
- ・実施内容: 仙台駅を起点とした愛宕上杉通、定禅寺通、晩翠通、青葉通を周回する仙台都心循環線の運行

●まちのり『ジャズット』

定禅寺ストリートジャズフェスティバル期間に合わせ、車内で生演奏を行いながら各会場を循環するバスとして通常運行とあわせ運行



【運行経路】



【内装ラッピング】



【バス停デザイン】

©Pokémon. ©Nintendo / Creatures Inc. / GAME FREAK inc.
 ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリエーターズ・ゲームフリークの登録商標です。

取組内容

効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
	●	●	●		●	

令和8年度以降の予定
 ➤ 利用促進に向けた周知広報を実施する。

⑦自動運転等新技術の活用を検討

1) 自動運転等新技術の活用を検討

【自動運転実証事業の拡大】

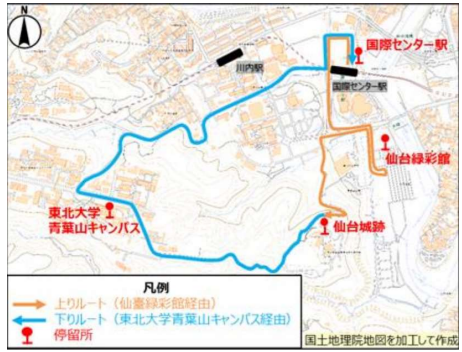
令和7年度実証概要

(1) 青葉山エリア(昨年度からの継続)

運行日: 11月9日(日曜日)～16日(日曜日)※12日(水曜日)、13日(木曜日)を除く

ルート: 上り 国際センター駅～仙臺緑彩館～仙台城跡

ルート: 下り 仙台城跡～東北大学青葉山キャンパス～国際センター駅

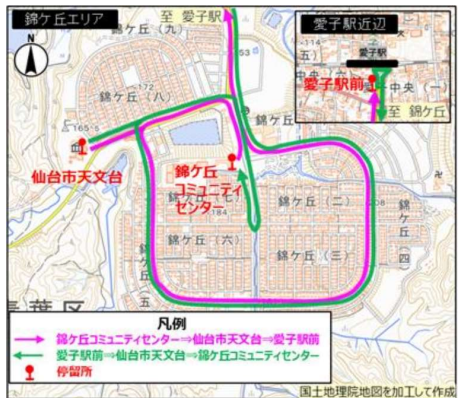


【青葉山エリアルート】

(2) 錦ヶ丘エリア(新規)

運行日: 10月18日(土曜日)～19日(日曜日)

ルート: 錦ヶ丘コミュニティ・センター～仙台市天文台～愛子駅



【錦ヶ丘エリアルート】

(3) 東部北エリア(新規)

運行日: 12月2日(火曜日)～7日(日曜日)

ルート: JR陸前高砂駅～仙台港フェリーターミナル～JR陸前高砂駅

(4) 秋保エリア(新規)

運行日: 令和8年1月24日(土曜日)～30日(金曜日)

ルート: 秋保・里センター～秋保大滝

取組内容

効果を与える評価指標

【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
------	---------	---------	---------	---------	---------

●

令和8年度以降の予定

➤ 今回の調査結果をもとに、自動運転サービス実証実験及び社会実装を目指していく

⑩ 運賃施策等による公共交通利用の促進

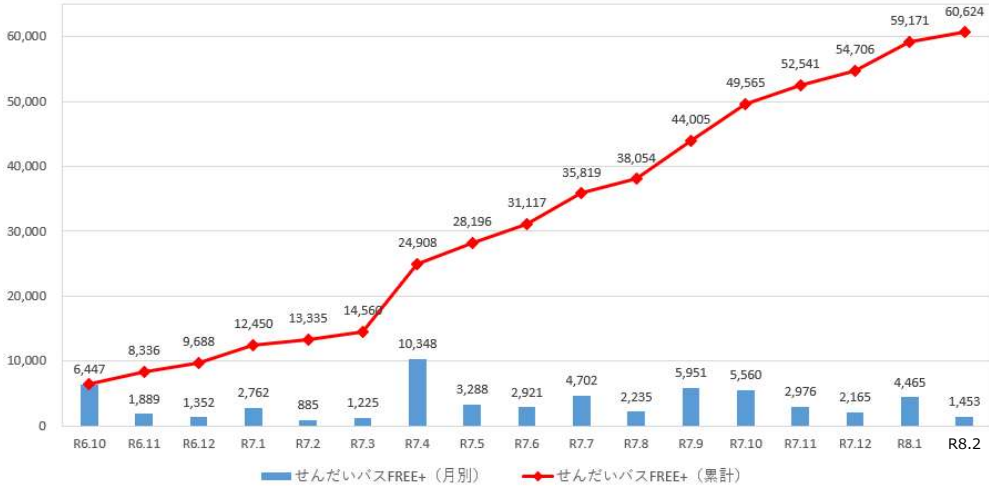
2) 新たな運賃・乗車券制度の検討

【新たな学生フリーパス制度「せんだいバスFREE+」】

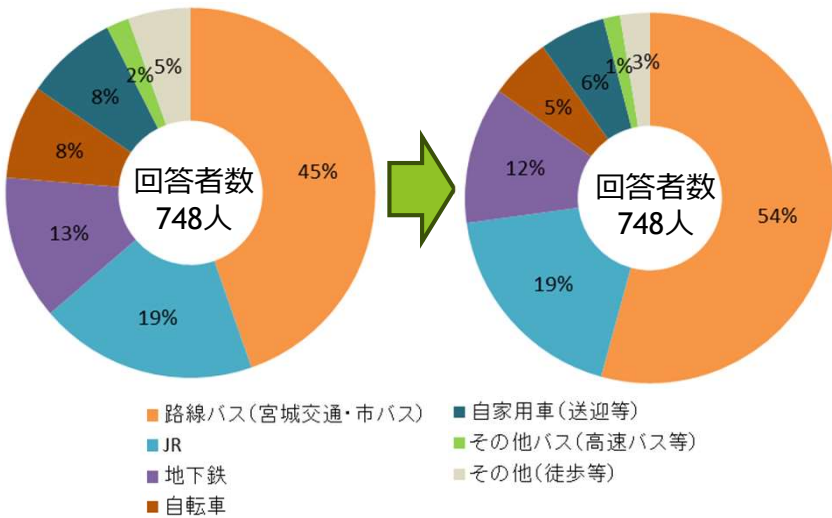
- ・学生が宮城交通と仙台市交通局の路線バスを、通学に加えて買い物、アルバイト等、自由に乗り放題となる通学定期券（令和6年10月1日より利用開始）
- ・利用開始から令和8年2月末までの販売枚数は約60,600枚（1ヵ月定期換算）
- ・これまで交通局ユーザーは、学都仙台市バスフリーパスを利用可能であったが、宮城交通ユーザーは通学定期券のみであったため、その多くがせんだいバスFREE+に移行。
- ・また、自転車や家族の送迎、運賃都度払いからの移行も多い。



取組内容



【FREE+販売状況（1ヵ月定期換算）】



【FREE+購入前後の通学手段（複数選択可）】
（アンケート結果より）

効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
	●	●				●

令和8年度以降の予定

- 「せんだいバスFREE+」は継続して取り組みを実施する
- 「ハッピー・ファミリー・ライド」は令和8年度から制度を本格実施する

⑪キャッシュレス決済の利活用の促進

2) キャッシュレス決済の検討

⑮旅行者等が移動しやすい環境の整備

1) 来訪者向け公共交通施策の実施

【「仙台都心循環線」における完全キャッシュレスバスの実証運行】

- ・運行事業者：宮城交通株式会社
- ・実施期間：令和7年10月1日～令和9年3月31日
- ・実施内容：運賃の支払いを現金以外のキャッシュレス決済（交通系ICカード等）に限定することで現金の管理コストや運転士の負担の軽減といったバス事業者の経営改善だけでなく、定時運行の確保といった利便性向上等の観点からもバス路線維持・充実に大きな効果が見込めるもの。

取組内容



効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
	●					●

令和8年度以降の予定

➤ 今回の実証実験の利用実績などを踏まえ、本格導入の可能性を検討する

⑭ M a a S の推進

1) MaaSの推進

【地下鉄時間券の販売】

・ドラゴンクエストウォーキング<東北>・仙台89ERSと連携し、地下鉄時間券(12時間/24時間/36時間)を販売

【販売実績】ドラゴンクエストウォーキング<東北>:1,246枚
(仙台89ERSは令和8年1月20日(火)より販売中)



【仙台MaaSデジタルマップの活用】

- ・仙台七夕まつりや定禅寺ジャズフェス等のイベントと連携し、デジタルマップに情報を掲載
- ・デジタルスタンプラリーの実施



取組内容



効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
	●	●				●

令和8年度以降の予定 ➤ 更なるコンテンツの充実を図るとともに、市民の認知度向上に努める